一般社団法人

洪門天地會青蓮堂日本總會

JAPAN LOTUS CHINESE FREEMASONS , JLCF

SUPREME LODGE
SINCE 1761

日本洪英会

Japan kouei Association

日本総会の志し

洪門長房の源流を引き継ぐ洪門天地會青蓮堂日本總會は、日本国のさらなる成長と進化が最善となることを目指し、民衆意識の高みと、同国のアジア地域における牽引国家としての立ち位置、実質的真価を発揮するよう共栄して参ります。そして世界の人々の平和と平等、さらには天下為公の社会を目指します。

日本総会の志し ・・・・・（1）

洪門天地会略史 ・・・・・（2）

入会の基本準則・・・・・（4）

本会の禁止行為について・（6）

日本総会について ・・・・（7）

青蓮堂標誌 ・・・・・・・（１１）

洪門の宗教観念について ・（１３）

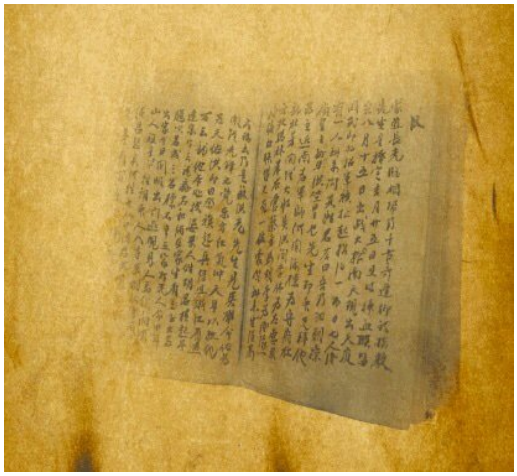
代表メッセージ ・・・・・（１４）

洪門天地会略史

当会は、 洪門天地會青蓮堂日本總會 と称します。

英訳は Japan Lotus Chinese Freemasons（略 JLCF）であります。

台湾（中華民国）の 國際洪門天地會青蓮總堂台灣總會 （LOTUS INTERNATIONAL CHINESE FREEMASONS SUPREME LODGE ）から正統継承された日本国総会となります。日本総会が旧漢字体を用いるのは、正統宗家の系統を示すためであります。



洪門

中国の清朝時代（17世紀）に発祥した民衆による秘密結社でしたが、のちに華人や華僑を中心とした組織に変わります。近年では、世界各国の有志も数多く入会し、多国籍化・多民族化してきています。

洪門（HONG MEN）とは、天地会であり天地会とは洪門です。この組織は五つの大系統（洪門五房）があり、長房（長兄のような）には当会の青蓮堂（せいれんどう）をトップに据え、二房洪順堂、三房家后堂、四房參太堂、五房宏化堂とし、その発祥地は中国福建省漳浦にある九蓮山の麓です。幇会（秘密結社）は中国大陸全土に広がり、やがて世界へと伝播していきました。

清の時代も晩期になると、洪門五房の各系統は江南地方を中心に中国全体に広まり、その後会員らが国外へ飛び出し東南アジア一帯へ。そしてヨーロッパへ。さらにアメリカ大陸まで進出し「華僑・華人がいる所に洪門あり」と言われるほど組織は発展していきます。

この東南アジア一帯へと言うのは、中国人の"下南洋"（東南アジアへ下る）は、すでに今から二千年前から始まっており、洪門（HONG MEN）が現れる時代にはすでに各地域で土着していました。その背景もあるためか一般民衆と洪門組織との融合が加速され、20世紀初頭の会員数は世界各地を合わせると600万人を越えました。今では会員数五千万人以上に勢力が拡大され、組織の国際化がさらに進化しています。洪門は秘密結社の発祥ですが、時代と共に少しずつ表面化しています。日本国においてもアジアフリーメイスンの名として、にわかに囁かれ始めています。

天地會

願いや想い、期待や希望、願望ばかりではなくつぎのステップ…【行動】へ

時代は移り変わり、洪門（HONG MEN / ほんめん）が掲げた《反清復明》という精神（民衆による異民族支配の脱却）は実は廃れておらず、ある意味別の形で現代でも生き続けていると言えます。それは、平等・公義・自由を目指し、強欲私欲・強権支配や腐敗を無くし正義を貫くことに変わりなく、さらに民衆が共創・共栄・共享し、相互扶助することによりいつの時代も必要とされていたと考えます。

私たちの精神は、博愛精神を生み出し、経済発展と清廉社会を両立させ、民衆の一致団結、そして人類平等な真の世界大同に寄与するものであります。

《順天行道》

（天に従い、示された道を行く）、300年以上不変のこの基本精神は、これからも変わりなくいつの時代も必要とされるでしょう。アジアに君臨する洪門（HONG MEN）というフリーメイスンは、大義のために存在し続けます。

◎詳しく説明したサイトがあります。「洪門（HONG MEN） ～天地会・ドラゴンのサンクチュアリ～ 」とご検索ください。

【 入会の基本準則 】

私たち（以下 当会）は、**順天行道**（天に順い示された道をゆく）と**衆生平等**（生きるものはすべて平等）の観点から、入会志願者や賛同者を吸収します。私たちは好き嫌いで人間を判断してはいけません。

しかし、当会は入会の判断に当然一定の審判基準が存在し、入会後一定期間を予備会員としております。この予備会員期間中は、会員の資格に値するかを見極めています。中には、当会へ対し逆に見極めようとする者もいますが、それはご縁がなかったことに繋がります。私たちは一般の方々とコンタクト取ったその瞬間から、入会するしないに関係なく人物考察がはじまります。

以下は、厳に入会を拒否します。

素行不良者・精神異常者・前科犯罪者・私利私欲な欲望者・国家の法を犯す者・反社会勢力・洪門（ほんめん）の名牌を利用する者、またはこれを利用し犯罪を犯す者

あるいは、入会したのち犯罪を犯したその瞬間からなど、そぐわない人間は、新任のみならず、なおかつ職位高低に関係なく一律拒絶します。その際、当共済会の処理制度「**家法**」に従い除名します。

『品徳』（人格や道徳）を基礎に観ます。

このそぐわない人物でなければ、基本生涯洪門（ほんめん）の門下生となります。

民衆が、不必要な戦争・不必要な格差・不必要な対立を誠に無くしたいのならば、力を合わせて一致団結が必要不可欠であることは言うまでもありません。

洪門の『忠義』の精神（武士道精神のような）に集い、平和を願う輪は、やがて日本でも大きな力となりましょう。私たちはアジアの平和、そして地球和平に貢献します。

当会は、会員個人の**道徳や品徳**をさらに高めるのが目的で、入会者の条件として、さきに述べた『入会の基本準則』に則り、無神論者でなく会派を愛し、また家族を愛し、社会を愛し、国家を愛し、それぞれの国の憲法や法律なども合法的に従うという規約もあります。他には250年前以上から存在する《三十六誓》《二十一則》などの会内規則（家法）があります。

各国の兄弟（Brother）たちも、日本国同様に会員それぞれが愛国者ですが、**「相互協合」が国家間を超えた繋がり**になっています。

当会は、入会基本準則と合わせて下記もあります。

①満18歳以上の成人男女

②定職がある方

③品徳のある方

④仲間を大切に出来る方

⑤自分の強みがある方

⑥自らの意思で入会される方

予備会員になるには、まず18歳以上の成人で、異常者や欲望者は原則としてお断りするなどの規則があります。分かりやすく申し上げると、基本的にレディースアンドジェントルマン（紳士淑女）であることが入会の条件です。

会合への参加も重要な位置になっており、参加費用などは各会員の持ち寄りです。私たち東洋のフリーメイスンは、世界各国に広がった巨大な組織力があります。会員は「学習」と「奉仕」を学ぶ事が大切です。そして重要幹部には「報・連・相」を持って組織の一元化を図っています。

～本会の禁止行為について～

洪門（ほんめん）すなわち天地会には《家法》という組織規則があります。共済会入会の基本準則のほか、三十六誓、二十一則などもありますが、これは入会後の会合開催時に学習勉強していきます。まずは当会の会内禁止行為をご承知おき下さい。

⑴兄弟を騙す行為。

⑵会合へ積極的に参加しない。

⑶兄弟を相談もせず自組織へ勝手に勧誘する。

⑷兄弟平等の気質という組織だが、役職や礼節を重んじない。

⑸会内で自己の政治、思想、信仰の持論を自己主張する。

⑹利己私利が目的で会へ参加、又は法を犯す。

⑺秘匿事項を他人にむやみに喋る。

⑻会の指針に従わない。

以上の８箇条です。

実にやって来る者の多くは人脈作りを期待したり、陰謀論のミーハーだったり、興味本位だったりなど、秘密結社という名前に想像を大きく膨らませて入ってきては、期待と違うとやめていく短絡的思考の人もいます。

日本総会について

【目的】

日本總會（以下 当法人）の目的は、参加する会員の相互親睦を深め、互いのコミュニケーションの向上や、より良い社会づくりに関する活動を通して、社会貢献及び国際貢献に興味を持つ人達のネットワークを構築し、洪門の精神である道徳、品徳、貢献を基礎に、平等と博愛の世界平和を実現することをその目的とし、その目的に資するために、次の事業を行う。

【信条】

共創・共栄・共享から生まれる民衆の相互扶助・博愛精神。その崇高な精神から経済発展・清廉社会へと繋がり発展させます。そして人類平等な真の世界大同（One World）を目指しています。啓蒙活動を行ない私たちの信条に従い人類みな兄弟（brother）を築きます。

アジア地域各国のさらなる発展、そして争いのない平等世界を創造し、友愛貢献や人種や民族、国家を越えた真のコスモポリタンな世界、地球の環境と適する協調的ワンワールド秩序を築きます。

【事業】

当法人は、上記の会目的を達成するための活動を行うため次の各項を実施する。

⑴講演会、勉強会など各種イベントの企画・開催および運営

⑵教育等の情報通信コンテンツの企画・製作および運営

⑶道徳心の推進を図るための社会教育

⑷各種ボランティア事業

⑸慈善活動の推進事業

⑹品徳を基礎に洪門の平等と博愛の精神の啓蒙活動を広め、その共済を推進する

⑺会員組織の運営

⑻書籍、雑誌、その他情報媒体の企画、執筆、編集及び出版

⑼共済会会員の道徳心と品徳のさらなる向上を図る教育

⑽前各号に掲げる他、当法人の目的を達成するために必要な一切の事業

当法人は、この 【目的】【信条】【事業】に則り活動し、三つの提唱観点によって世界和平に寄与することを主旨とします。また、日本国の活動には日本国の憲法・法律、そしてルールを守り法令遵守し、共存共栄する展開をして参りたいと思います。 そしてなんといってもその最大の目的は、**【世界の和平】**です。

当法人は、世界のどの宗派、どの結社、どの会派、どの政党、そしてどの国とも共存共栄し、人類平等、地球和平の信条のもとで接しています。対立することは望んでいません。しかし、地球和平を害するものとは和平の道を模索しても良い終着地がつかない場合は、交流をお断りしています。

会員は、洪門（ほんめん）の教義を日常生活で実践します。一人一人が行動的な伝道者となり、洪門の教えを言行一致させます。

具体的には…、

①すべての会員が兄弟としての連帯を図るため、会合や集会に積極的に出席することと、連絡体制の重要性を自覚する。

②十分練られたプログラムを通じて、洪門の歴史、組織、活動をよく知る。

③すべての会員は会の内外で、あらゆる人間関係を通じ、兄弟愛、救済、真実を伝える。

こうして当会の会員として、教義を広く世界に普及します。

私たち洪門（ほんめん）が提唱するものは、共創・共栄・共享から生まれる民衆の相互扶助・博愛精神。その崇高な精神から経済発展・清廉社会へと繋がり発展させることです。日本国で成長を続けていき、日本国の美徳「和」をも世界へ広げて参ります。なにより世界各国には私たちの良き兄弟、良き友人が大勢います。

未来発展のため『義』や『礼』『孝』を重んじる兄弟仲間（ブラザー）が集い、さらに信条をともに分かち合える会派、また思いが同じような会派・共感する個人等とともに、相互協力・切磋琢磨し、《日本を元気にしたい》《アジアを元気にしたい》さらには《**争いのない世界へ**》と、この規模が大きくなることを目指します。

当会は平成28年6月30日をもって、一般社団法人 洪門天地會青蓮堂日本總會となりました。

cici_luis

青蓮堂標誌

太極生兩儀、天地日月明 青蓮鳳凰郡、長房彪黑旗

「太極生兩儀，兩儀即天地，兩儀即陰陽。故以日月為天地，以日月為陰陽，兩極即代表宇宙的生生不息。」

太極は両儀を生み出す。両儀はすなわち天と地、陰と陽である。それは日と月を天と地に、または日と月を陰と陽にする。この両極は、宇宙の万物の生まれ変わりゆくことでもある。

「鳳凰是一種古代皇族象徵的神鳥，天地會會簿有言：「鳳凰來儀在高崗 靈禽現出有聖皇 吉兆英雄為帝王 洪兒不久復帝基」因此，鳳凰在天地會的組織裡，即代表至高無上的地位。」

鳳凰は古代より皇族を象徴する神鳥である。天地会の密書会簿には（意訳）「鳳凰は高き山峯に舞い降りる、この霊鳥が現れるところには聖皇がいる。吉兆をもたらす英雄はやがて帝王になり、洪家の子らはその支えとなるだろう」

このように、天地会の組織において鳳凰とは至極無上の地位とされる。

「天地會源自佛教，而《 蓮 》則為佛教的代表物，故以《 青蓮堂 》為天地會長房之名。」

天地会は仏教を源としている。「蓮」とは仏教界を代表し、それゆえ「青蓮堂」を天地会（洪門）の長房（ちょうぼう）にした。

「而佛經以蓮花喻妙法，以暗藏宇宙的玄祕在內，正是代表「蓮花藏世界」的最高境界。」

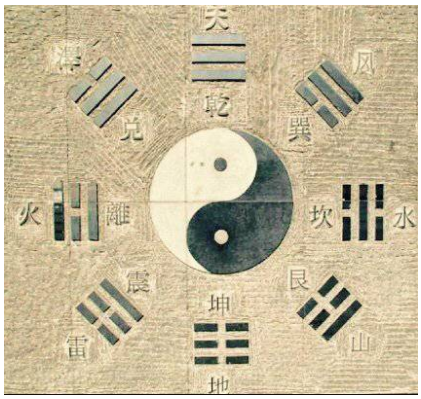
仏経において蓮花は妙法にたとえられ、宇宙の神秘が暗に示されている。まさに「蓮に宇宙あり」と最高の境地を言い現わしている。

詩云：「福建烏旗彪字為 甘肅聚會結始基 堂號青蓮明分派 二九山河壯帝畿」。

洪門の宗教観念について

洪門（ほんめん）すなわち天地会は、もっとも初期では宗教性をもとにしていました。圧政や窮困する社会情勢下では、いつの時代も人びとは希望と夢を持つものです。

洪門においては、その名を**「天地会八卦教」**。



基本要素に宗教形式が含まれており、例えば、「神話」「伝説」「宗教信仰」「思想信仰」「出家的な要素」さらには、「日常生活の模範」「規律」「礼節」。また説くは「人生の未来目標」など、「厳かな入会儀式」にもその宗教的性質があることが理解されます。

『八卦』からの由来には、陰と陽、正と負、日と月、明と暗、生と死など…両極一体とし、天の動きを見て地の脈を読むなどもありまして、重要な出来事や儀式があるときは天地脈の暦に従います。これは迷信などではなく、**地球の『氣』、宇宙の『氣』**の運行法則からきております。

その昔、人びとは天空や大自然を観察し、**天道の陰陽、地道の剛柔、人道の仁義**などを編み出しました。宇宙とは《時間と空間》の合わさりであり、その法則を読み解き発明されたのが「十二地支」「十天干」です。

八卦および九宮は、無極虚空から太極を生み出す、太極は陰陽に分かれてそれは天と地の両極になる。天と地に分かれると四方が生まれ、これを 《四象》と言う。

陰陽（上下）・四象が完成したのち、はじめて森羅万象の『八卦』が形成されるのであります。

この観念も時代進化をし、三教合一から日本では五教合一へと昇華されていきます。

代表メッセージ

私たちは、洪門（ほんめん）天地会長房青蓮堂、HONG MEN（英音）という名の世界組織です。共済会としており、英訳 Chinese Freemasons や、日本においては数年前よりアジアフリーメイスンとも呼ばれています。洪門（ほんめん）は、キワニス、ロータリークラブ、ライオンズクラブと並び世界４大組織の一角を担う国際的な共済団体、または慈善団体であり、2003年に国際合法化され、秘密結社だった巨大組織は徐々にその姿を見せ始めています。

いかなる時でも最も信頼される存在として、日本はもとよりアジア、そして世界に選ばれる存在となることを目指し、さらには世界を支える揺るぎない存在となるよう邁進していくことを考えております。

…私は、いままでこの組織は、通常一般人には見えない世界的な『ブランド』と思っておりました。この【鍵】を持つと、いろんな世界の扉が開かれるものになりましょう。会員らは普段一般社会に溶け込み普通に生活をし、自己研鑽して勉強学習や自己能力の向上に努めます。悠久の時を経て現代までに培った強靭な巨大組織力、『義』を重んじる事が基礎信念です。

しかし、残念なことに私たちに対する論評には良くない見聞もあります。それはもとは革命集団。ときの権力者清朝からの漢民族へ奪還する時代は反政府勢力であったことは事実です。その中において、ときの権力者の書物もおのずといかがわしい連中として記録され、それはあたかも残虐なマフィア連中として今も残っています。これらをさらに編纂し、実史を知らず面白おかしく書き足され、いつしか無頼者の集団と認識されていきました。 たしかに、仲間のなかには流れる歴史のなかで「権力」「利権」を得て悪路へ踏み込んだ者はいますが、しかしそれは極々少数です。いつの時代も「悪」は過大誇張されるものです。

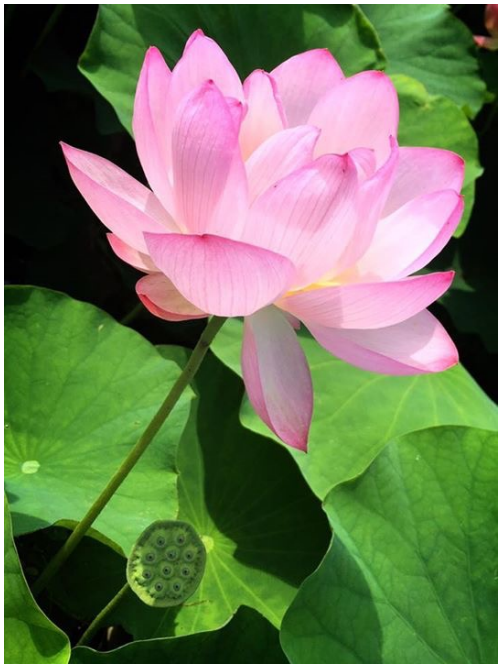
私たちは異姓結拝の義兄弟気質の組織です。その心の繋ぎは「忠義千秋」… 簡単に申しますと日本国にあった「武士道の精神」とほぼ一緒と考えて構いません。

私たちは世界中のどの宗教、どの結社、どの会派、どの政党、そしてどの国とも共創、共栄と共享、人類平等、地球和平な信条のもと接しており、対立することは望んでおりません。しかし、これをら害する者達とは和平の道を模索しても良い終着点がつかない場合は、仕方なく交流をお断りしています。

一地球人として何に貢献できるかを相互に求めて、真のコスモポリタンと良きワンワールド（世界大同）を築いて参ります。啓蒙活動やボランティア活動などを通し、日本をそしてアジアを元気にしたいと共感する人々の輪（和）を集めたいと考えています。

皆さまからの信頼やご期待に応え、経済、社会、もちろん世界和平の礎となる組織を目指して、日本總會は一丸となって真摯に取り組んで参りますので、良きご交流とご愛顧のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（一社）洪門天地會青蓮堂日本總會
總會長　小林　明峯



洪門

HONG MEN